

36 クロベンケイガニ

(ベンケイガニ科)

兵庫県ランク:C

Chiromantes dehaani

環境省ランク:指定なし

種の概要

太平洋側では宮城県以南、日本海側では男鹿半島以南沖縄諸島までに分布する。甲幅40mm。河口や干潟後背の底質に巣穴を掘る。石積みの隙間に潜んでいることもある。薄暗時に活発に行動し、樹木に登るなど立体的に行動する。甲は暗褐色で暗色の雲紋状の模様が甲前部に入る。ハサミ脚上部は紫色になることが多い。本種は甲の側縁に切れ込みがなく、ハサミ脚の可動指上面に顆粒列もないことが、他種との識別点となる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○			△				

県内分布

神戸市、加古川市、高砂市、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、豊岡市、香美町、新温泉町、洲本市、南あわじ市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。神戸地域から播磨西部、淡路島及び日本海側で記録がある。神戸・阪神地域などの都市近郊の海岸では、石積みの護岸やコンクリートの隙間などに潜む。

保護上の留意点

本種はアカテガニ(その他無脊椎動物Bランク)などと比較すると比較的人工的な環境にも適応できると考えられるが、本来の生息環境は河口域の土手や河畔林床などである。特に護岸化が徹底されている神戸・阪神地域においては、現在に至るまでに個体数が大幅に減少したことは間違いないと思われる。



写真提供：増田修



写真提供：西宮市貝類館

※撮影個体は県外産

【執筆者】 渡部哲也